

令和5年度事業報告

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人
エコパートナーとっとり
理事長 大野木 昭夫

1. とっとり自然環境館の事業成果

○委託事業について

(1) 平成25年(2013年)10月20日に開館した「とっとり自然環境館」の運営・管理を鳥取米子ソーラーパーク株式会社から引き続き受託しており、開館から入館者数の推移は下表及び下図に示すとおりである。

入館者数は令和5年2月1日から令和6年1月31日まで12,492人であったため、インセンティブ契約に基づき、鳥取米子ソーラーパーク株式会社からインセンティブ110万円を受領した。

今年度は鳥取県地球温暖化防止活動推進センターと連携して小学生から大学生を対象とした「再生可能エネルギー発電所ツアー」を7回(参加者323人)、及び小学生を対象とした「再生可能エネルギー工作教室」を20回(参加者555人)行った。そのほかカードゲームの実施や紙芝居(動画)の放映を行い地球温暖化に対する理解を深めた。

表-1 入館者数推移一覧表

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4		830	590	1,052	1,388	1,249	1,676	341	919	1,013	1,073
5		730	994	1,020	2,309	1,418	3,672	102	910	973	1,118
6		794	691	1,169	1,659	1,778	949	246	780	490	651
7		560	1,514	2,938	2,271	1,844	1,935	271	761	638	1,075
8		725	1,368	1,174	1,606	1,396	1,331	538	1,102	1,314	1,649
9		748	937	1,216	1,566	833	784	293	1,045	589	1,096
10	103	1,290	1,677	1,562	1,655	2,331	2,058	526	1,245	1,461	1,312
11	494	1,587	1,252	1,219	1,561	992	824	721	1,177	1,017	1,549
12	208	583	820	532	626	552	429	544	627	946	623
1	221	704	767	631	193	486	546	315	538	584	434
2	826	492	602	722	743	570	1,003	606	294	635	911
3	655	472	1,178	906	1,098	727	1,171	726	986	918	1,001
年度計	2,507	9,515	12,390	14,141	16,675	14,176	16,378	5,229	10,384	10,578	12,492

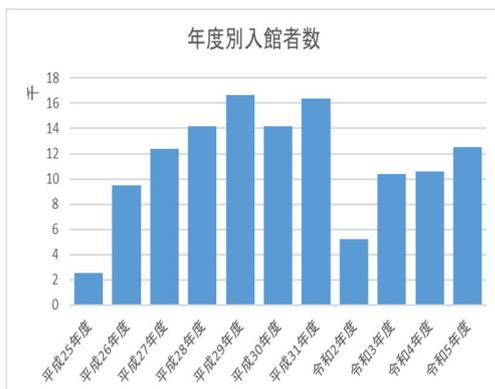


図-1 入館者数推移図

(2) とっとり自然環境館が開館から 10 年を迎え、10 周年を記念したフェスタを令和 5 年 11 月 4 日(土)に開催し、未来エネルギープロジェクトの発表、災害時に活動する車両の展示のほか、鳥取県、米子市、江府町が共催団体となり、各団体が出展ブースの運営を行った。また、協賛団体の鳥取米子ソーラーパーク(株)から協賛金として 40 万円を受領した。

(3) 鳥取県が主催する「とっとり再生可能エネルギーフェア」の再エネ発電工作業務、及び再エネのミニセミナーの実施を(株)新日本海新聞社西部本社から受託し、小学生とその保護者に再エネの発電工作の指導とフェアの参加者に再エネのミニセミナーを実施した。

○新エネルギーの普及啓発・導入促進事業について

中海体験クルージング実行委員会が主催する「中海環境フェア」が令和 5 年 8 月 26 日(土)に開催され、とっとり自然環境館は(株)エスジーズと共同で出展した。その様子は中海テレビ放送で後日放映された。

事業の実施に関する事項

(1) 委託事業

事業名	事業内容	(A)事業実施日 (B)事業実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	活動計算書の事業費の金額(単位:千円)
① とっとり自然環境館運営に関する業務委託	鳥取米子ソーラーパーク(株)が運営する環境教育施設「とっとり自然環境館」の運営管理を行った。	(A) 令和 5 年 4 月 1 日~令和 6 年 3 月 31 日 (B) とっとり自然環境館 (B) 6 人	(D)一般市民 (E)入館者 12,492 人	16,248
② とっとり再生可能エネルギーフェアの再エネ発電工作業務ほか	フェアにおいて再エネのミニセミナーを行うとともに、小学生とその保護者に再エネの発電工作を指導した。	(A)令和 6 年 1 月 27 日 (B)米子産業体育館 (C) 8 人	(D)一般市民 (E)約 300 人	440

2. 鳥取県地球温暖化防止活動推進センターの事業成果

令和4年4月1日より、鳥取県から地球温暖化防止活動推進事業を受託して、「ゼロカーボンとっとり」の名称で活動を開始して2年経過した。

今年度の取り組み方針は、以下の通りとした。

- 1、地球温暖化防止活動推進センターの知名度を上げるとともに、温暖化対策の取り組みを促進し、脱炭素社会に向かって歩みを進める。県内の地球温暖化防止活動を推進して、県民の地球温暖化防止に関する意識の向上とその活動を県内に拡大する。
- 2、地域における気候変動による災害リスクや暮らし方の変化の事例を基に、県民のCO₂削減を促進する啓発を通して、行動変容につなげる。
- 3、事業者に向けては、将来の経営環境をとらえた脱炭素経営の道筋につながる各施策を紹介し、全国または県内の先進的事例の紹介を通し、温暖化防止活動の啓発を拡大する。

事業成果は以下の通りである。

- 1、県内外から地球温暖化防止活動に関する情報を幅広く収集し、県民への情報発信を行うとともに、行政と一体になって脱炭素社会の実現に向かって施策等々を実践して、行動変容につながる啓発活動をした
- 2、ゼロカーボンアイデアコンテストは、夏休みの期間にアイデアを募集、11月26日に発表会をして、県民の脱炭素社会への関心を高めた。県下の小学校3年生に環境教育シートを配布して、家族で楽しく学びながら家庭での省エネ活動の実践につなげた。エネルギーツアーは8コース、再エネ工作教室は21回実施して、身近な省エネ活動の実践や、暮らしの変化に対する行動変容につなげた。
- 3、金融機関の意見交換会は2回実施、事業所における省エネ対策、省エネ投資の普及拡大につながる事業活動を促した。鳥取県登録省エネ診断員は18名認定、トライアル診断を10事業者実施して、実践を通じた専門家の育成をした。鳥取大学と協働で脱炭素経営を学んだ学生が県下の企業インタビューを実施、企業の脱炭素に関わる取り組みを広報した。

事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	(A) 当該事業実施日 (B) 当該事業実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	活動計算書の事業費の金額 (単位：千円)
(1) 家庭・地域で地球温暖化対策に向けた啓発活動	定期的に、地球温暖化に係る情報や行政施策、地域における気候変動の影響・適応に係る情報の発信をした。 イベントに出展して、将来の脱炭素社会を紹介した。	(A) 令和5年4月～令和6年3月、イベント 11月26日 (B) ホームページ、FB、X、イベント会場・境港夢みなとタワー (C) 15人	(D) エコサポーターズ、一般県民 (E) 不特定多数、イベント 91人	880
(2) 地域の地球温暖化防止活動を推進する地球温暖化防止活動推進員の育成	エコ端会議はオンラインで2回、養成講座は対面とオンライン併用で1回開催した。推進員の専門知識の向上、スキルアップを促進した。	(A) エコ端会議・令和5年7月29日、12月2日、養成講座・令和6年2月3日 (B) エコパ会議室、駅パル倉吉 (C) 39人	(D) 推進員、アドバイザー (E) 39人	3,158
(3) とっとり環境教育・学習アドバイザー制度の運用	アドバイザー派遣の依頼6件に対応した。	(A) 令和5年6月9日、7月26日、8月4日、9月6日、10月13日、令和6年2月8日 (B) 公民館、学校 (C) 6人	(D) 一般県民、学生 (E) 不特定多数	0

事業名	事業内容	(A) 当該事業実施日 (B) 当該事業実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	活動計算書の事業費の金額 (単位：千円)
(4) 実践的環境教育の実施	県と連携して、ゼロカーボンアイデアコンテスト、再生エネルギーツアー8回、再エネ工作教室21回を実施して、県民の行動変容につなげた。	(A) コンテスト令和5年11月26日、ツアー7月24日～11月20日、工作教室7月21日～12月3日 (B) コンテスト・境港夢みなとタワー、ツアー・県下再エネ施設、工作・とっとり自然環境館 (C) 125人	(D) 一般県民 (E) エコツアー314人 工作教室550人	5,995
(5) 事業者向け普及啓発の実施	金融機関の意見交換会は2回実施して、事業所における省エネ対策、省エネ投資の普及拡大につながる事業活動を促した。鳥取県登録省エネ診断員は18名認定、トライアル診断を10事業者実施して、実践を通じた専門家の育成をした。鳥取大学と協働で脱炭素経営を学んだ学生が県下の企業インタビューを実施して、企業の脱炭素に関わる取り組みを広報した。	(A) 意見交換会・令和5年8月2日、11月29日、省エネ診断・令和5年6月3日～令和6年2月2日、鳥大・令和5年7月13日～10月19日 (B) 意見交換会・倉吉未来中心、省エネ診断・県下企業、鳥大・県下企業 (C) 33人	(D) 金融関係、県下企業 (E) 人数150人	3,732

事業名	事業内容	(A) 当該事業実施日 (B) 当該事業実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	活動計算書の事業費の金額 (単位：千円)
(6) とっとりエコライフ構想普及啓発事業の実施	<p>ライトダウンイベントでは、県、市町村及び賛同企業・団体の職場及び家庭の照明を一斉に消灯した。同時に、キャンドルナイトイベントを実施した。</p> <p>「とっとりエコライフ構想」の趣旨に則り、我慢ではなく快適に省エネを進めるライフスタイルに沿った普及啓発事業を実施した。</p>	<p>(A) 令和5年7月7日</p> <p>(B) とりぎん文化会館、参加団体事務所</p> <p>(C)15人</p>	<p>(D)一般県民</p> <p>(E)500人</p>	1,666
(7) 太陽光発電等に関する窓口開設及び普及活動	<p>太陽光発電に関するQ&A集を制作、太陽光発電の紹介チラシを3,000部作成して、催し物等で配布するとともに県民からの質問に対応した。</p>	<p>(A) 令和6年1月10日～3月31日</p> <p>(B) エコパ事務所</p> <p>(C)3人</p>	<p>(D)一般県民</p> <p>(E)不特定多数</p>	1,650
(8) トットリボーン COP28 派遣に係るコンテンツ制作及び情報発信支援	<p>COP28に派遣されたトットリボーン使節団に同行取材した。本派遣事業に関する取り組み状況が住民へ伝わるように県の情報発信を支援した。この取り組みが住民の行動変容につながるきっかけとするため、県と連携をとりながら効果的な広報をした。</p>	<p>(A) 令和5年11月29日～12月5日</p> <p>(B) アラブ首長国連邦・ドバイ首長国</p> <p>(C) 7人</p>	<p>(D) 一般県民</p> <p>(E) 不特定多数</p>	1,980

3. 特定非営利活動に係る事業成果

通常総会は、令和5年5月19日に開催して、前年度の事業報告と今年度の予算・事業計画を審議し承認された。

新エネルギーの普及啓発・導入促進事業について

中海体験クルージング実行委員会が主催する「中海環境フェア」が、令和5年8月26日（土）に開催され、とっとり自然環境館は（株）エスジーズと共同で出展した。その様子は中海テレビ放送で後日放映された。

事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	(A) 事業実施日 (B) 事業実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	活動計算書の事業費の金額 (単位：千円)
通常総会	前年度の事業報告と今年度の予算・事業計画を審議して承認された。	(A) 令和5年5月19日 (B) エスジーズ会議室 (C) 10人	(D) 理事、監事 (E) 10人	0
新エネルギーの普及啓発・導入促進事業	中海環境フェアに出展して、環境活動の啓発をした。	(A) 令和5年8月26日 (B) 米子食品会館 (C) 5人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数	0

活動計算書

2023年 4月 1日から 2024年 3月31日まで

(単位：円)

科目	予 算	決 算	予算差異
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費	20,000	20,000	
受取会費計	20,000	20,000	
2. 受取寄付金			
3. 受取助成金等			
4. 事業収益			
とっとり自然環境館運営に関する業務委託	15,639,180	17,489,180	△1,850,000
地球温暖化防止活動推進事業	19,184,900	25,076,000	△5,891,100
事業収益計	34,824,080	42,565,180	△7,741,100
5. その他収益			
受取利息	100	85	15
雑収入		475,480	△475,480
その他収益計	100	475,565	△475,465
経常収益計	34,844,180	43,060,745	△8,216,565
II 経常費用			
事業費			
(1) 人件費			
給料手当	5,520,000	8,897,219	△3,377,219
臨時雇賃金	860,000		860,000
法定福利費	840,000	595,655	244,345
通勤費	540,000	483,690	56,310
福利厚生費	480,000	558,310	△78,310
人件費計	8,240,000	10,534,874	△2,294,874
(2) その他の経費			
業務委託費	11,327,900	12,208,480	△880,580
印刷製本費	240,000	189,333	50,667
会議費	100,000	249,870	△149,870
旅費交通費	610,000	842,090	△232,090
通信運搬費	720,000	357,939	362,061
消耗品費	2,750,000	3,862,195	△1,112,195
備品	797,000	305,690	491,310
広告宣伝費	2,140,000	3,483,102	△1,343,102
修繕費	464,000	748,642	△284,642
図書費	120,000		120,000
貸借料	2,112,000	2,703,460	△591,460
事務手数料	1,320,000	4,128,000	△2,808,000
交際費	100,000	283,628	△183,628
保険料	5,000	5,000	
諸会費		40,000	△40,000
租税公課	50,000	22,200	27,800
研修費	1,050,000	483,750	566,250
支払手数料	20,000	127,873	△107,873
支払寄付金	30,000	110,000	△80,000
雑費	2,432,280	699,228	1,733,052
その他の経費計	26,388,180	30,850,480	△4,462,300
事業費計	34,628,180	41,385,354	△6,757,174
管理費			
(1) 人件費			
(2) その他の経費			

修繕費	60,000	74,525	△14,525
賃借料	30,000	28,981	1,019
保険料	1,000	1,000	
諸会費	25,000	22,000	3,000
租税公課		658,500	△658,500
支払手数料	100,000	88,550	11,450
その他の経費計	216,000	873,556	△657,556
管理費計	216,000	873,556	△657,556
経常費用合計	34,844,180	42,258,910	△7,414,730
当期経常増減額		801,835	△801,835
Ⅲ経常外収益			
Ⅳ経常外費用			
Ⅴ経理区分間振替額			
税引前当期正味財産増減額		801,835	△801,835
法人税・住民税及び事業税	81,000	246,910	△165,910
当期正味財産増減額	△81,000	554,925	△635,925
前期繰越正味財産額		2,049,916	△2,049,916
次期繰越正味財産	△81,000	2,604,841	△2,685,841
指定正味財産増減の部			
次期繰越正味財産額	△81,000	2,604,841	△2,685,841

貸借対照表

2024年3月31日

(単位 円)

勘定科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,526,333		
現金	247,953		
普通預金	378,344		
定期預金	900,036		
未収金	1,459,065		
前払金	185,000		
立替金	2,079		
流動資産合計		3,172,477	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
固定資産合計			
資産の部合計			3,172,477
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	241,250		
未払費用(社会保険)	36,792		
未払費用(労災保険)	8,658		
未払費用(雇用保険)	126,531		
未払費用(月経費)	69,269		
預り金	79,486		
預り金(所得税)	5,870		
預り金(住民税)	9,600		
預り金(社会保険)	35,928		
預り金(雇用保険)	13,788		
その他預り金	14,300		
未払法人税等	246,900		
流動負債合計		567,636	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債の部合計			567,636
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産			
前期繰越正味財産		2,049,916	
当期正味財産増減額		554,925	
一般正味財産合計			2,604,841
正味財産の部合計			2,604,841
負債及び正味財産の部合計			3,172,477

財産目録

2024年3月31日

(単位 円)

資産・負債の内訳		金額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金		1,526,333	
現金		247,953	
普通預金	山陰合同銀行/米子東支店	378,344	
定期預金	山陰合同銀行/米子東支店	900,036	
未収金	鳥取米子ソーラーパーク㈱	1,459,065	
前払金		185,000	
立替金	鳥取米子ソーラーパーク㈱	2,079	
流動資産合計		3,172,477	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
資産の部合計			3,172,477
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		241,250	
未払費用 (社会保険)		36,792	
未払費用 (労災保険)		8,658	
未払費用 (雇用保険)		126,531	
未払費用 (月末経費)	K O A 他	69,269	
預り金		79,486	
預り金 (所得税)		5,870	
預り金 (住民税)		9,600	
預り金 (社会保険)		35,928	
預り金 (雇用保険)		13,788	
その他預り金		14,300	
未払法人税等		246,900	
流動負債合計		567,636	
2. 固定負債			
負債の部合計			567,636
正味財産			2,604,841